

事業名	県産果実海外販路拡大支援事業費		
細事業名	果樹王国やまなし輸出拡大サポート事業費	財務コード	801902
担当部課室	農政 部 果樹食品流通 課 農産物販売戦略室 担当 (内線) 5223		

事業の概要

実施期間	始期 H26 年度 ~ 終期 H28 年度		
実施主体	県(直営)、県(委託)、補助(山梨県果実輸出促進協議会、(独)日本貿易振興機構)		
事業の目的	だれ(何)を対象に 県果実輸出促進協議会 (独)日本貿易振興機構	その対象をどのような状態にして 海外市場での有利販売のためのPR 資材を作成し、海外での販売促進活 動を活発に行っている 輸出に必要な情報を山梨県に随時提 供し、県等が行う海外における販売促 進活動等に対し支援している	結果、何に結びつけるのか 果実の輸出拡大
事業の内容 主にH26年度	海外での市場開拓や販路拡大等を図るため、県果実輸出促進協議会が行う、販売促進活動等に助成するとともに、輸出に必要な情報提供と販売促進活動等に対する支援を受けるため、(独)日本貿易振興機構に対し負担する。 (1)果樹王国やまなし輸出拡大サポート事業補助金 補助先 山梨県果実輸出促進協議会 補助率 定額(1/2以内) 事業内容 やまなしブランドPR事業(統一ロゴマークやPRチラシ等の作成) 海外販売促進事業(安定市場(香港・台湾)における販売量拡大、新興市場(シンガポール・タイ等)における本県果実の認知度向上等の取り組み) (2)ジェトロメンバーズ等年会費 負担先 (独)日本貿易振興機構 負担率 定額		
根拠法令等			

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	フルーツショップ(安定)	-	4回	4回	4回	4回	活動指標 目標設定の考え方 安定市場は量的拡大を図るため、経費を縮減し同水準で実施。新興市場は、新しい商流の確立を図るため、回数を増やし4回実施。 データの出典等
	フルーツフェア(新興)	-	2回	2回	4回	4回	
	プレゼンテーション	-	1回	1回	1回	1回	
活動指標達成率 (実績値/目標値)		100.0 %					
成果指標	県産果実の輸出額	357百万円	500百万円	514百万円	580百万円	646百万円	成果指標 目標設定の考え方 H26年度目標値は、H22年度実績額の2倍として設定。H27年度以降は、新総合計画にて目標設定。 データの出典等 果樹王国やまなし輸出戦略プラン 新総合計画目標数値
	成果指標達成率 (実績値/目標値)		102.8 %				
	決算額又は予算額 (千円)うち一財額	-		2,777	3,462	3,724	
所要時間(直接分)	- 時間		20 時間	20 時間	20 時間		
所要時間(間接分)	- 時間		0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	0 時間		20 時間	20 時間	20 時間		
人件費コスト単位:千円 (@2,048円×所要時間)	0		41	41	41		

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H26年度活動指標の達成率		
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H26年度成果指標の達成率		「第二期チャレンジ山梨行動計画」において、H26年度の輸出額の目標額を500百万円としていたが、輸出実績は514百万円となり、目標額を達成した。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
無		

・「以外の判断項目」の欄
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方角(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方角	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方角」が異なる場合は、その理由も記載すること
現行どおり	

・見直しの方角は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること